

平成 21 年 5 月 19 日

各 位

会 社 名 インスパイア株式会社  
代表者氏名 代表取締役社長 駒澤 孝次  
コード番号：2724 大証ヘラクレスG)  
問 合 せ 先 経営企画室 室長 本多 隆  
電 話 番 号 03-5418-4811

## (追加) 平成 21 年 3 月期決算短信の一部追加に関するお知らせ

当社が平成 21 年 5 月 15 日発表いたしました「平成 21 年 3 月期決算短信」につきまして、報告内容の追加がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、追加箇所は\_\_\_\_ (下線) にて表示してあります。

## 記

## 1. 追加事項

以下の項番の事項が欠落しておりましたので、追加いたします。

「1.経営成績 (1) 経営成績に関する分析」(平成 21 年 3 月期決算短信 3 ページ)

## 2. 追加事項

## 【訂正前】

## 1. 経営成績

## (1) 経営成績に関する分析

当事業年度におけるわが国経済は、サブプライムローンを発端とした米国金融市場の悪化、原油価格の高騰の影響等による世界的な経済環境の悪化を受け、わが国における基幹産業である自動車や電器メーカーなど輸出産業を中心に企業収益が短期間で急激に悪化し、景気の不透明感が強まってまいりました。

(後略)

## 【訂正後】

## 1. 経営成績

## (1) 経営成績に関する分析

## ①当期の経営成績

当事業年度におけるわが国経済は、サブプライムローンを発端とした米国金融市場の悪化、原油価格の高騰の影響等による世界的な経済環境の悪化を受け、わが国における基幹産業である自動車や電器メーカーなど輸出産業を中心に企業収益が短期間で急激に悪化し、景気の不透明感が強まってまいりました。

(後略)

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、世界的な景気後退の先行き不透明感が依然として高く、また当社の属する業界においては企業間の競争が激化しており、当社を取り巻く事業環境は厳しく推移するものと予想されます。このような環境の中、当社といたしましては、既存事業における収益性の高い商材・サービスへの選択と集中、業務プロセスの更なる効率化、新たな事業セグメントを含む新規事業の立ち上げ、徹底的なコストカットによる筋肉質な経営体質への転換等に取り組み、業績の向上を図っていく所存であります。

これらによりまして、平成 22 年 3 月期の業績につきましては、売上高 1,032 百万円 (前事業年度比 31.2%減)、営業損失 2 億 47 百万円、経常損失 2 億 47 百万円、および当期純損失 2 億 47 百万円を予定いたしております。

以 上